

令和4年度 経営改革プラン

団体名	公益財団法人神戸医療産業都市推進機構	
設立年月日	平成12年3月17日	
団体の設立目的・沿革	21世紀の成長産業である健康・福祉・医療関連産業の振興を図ることによって、新産業の創出・既存産業の高度化・雇用の確保による神戸経済の活性化、健康支援と高齢化社会への対応による市民福祉の向上、さらにはアジア諸国の医療技術の向上などの国際社会への貢献を目的とする神戸医療産業都市の中核的支援機関として、産官学医の連携・融合を促進する総合調整機能を担うとともに、先端医療の実現に資する研究開発及び臨床応用の支援、次世代の医療システムの構築を通じて、革新的医療技術の創出と医療関連産業の集積形成に寄与することを目的とする。	
団体の主な事業内容	事業名	所管課
	先端医療の研究開発事業	企画調整局医療産業都市部調査課
	進出企業に対する事業化支援事業	企画調整局医療産業都市部調査課
	神戸臨床研究情報センター管理運営事業	企画調整局医療産業都市部調査課
	再生・細胞治療の研究開発・製品製造事業	自主事業
	研究開発・臨床応用に対する総合的支援事業	自主事業
代表者	理事長 本庶 佑	

役職員数 (令和3年7月1日時点)	評議員、理事		監事		職員		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	有期	無期	
団体固有職員	2	1	-	-	132	144	279
市派遣職員	2	3	-	-		11	16
市OB職員	1	-	-	-	1		2
その他	-	16	-	2	8	-	26
合計	5	20	-	2	141	155	323

財務状況(単位:百万円)	令和2年度	令和元年度	差引
経常損益	△ 384	△ 151	△ 233
当期正味財産増減額	795	254	541
流動資産	2,170	1,429	741
流動負債	5,694	4,776	918
長期借入金(固定負債)	0	0	0
期末現金預金残高	545	433	112

■中長期的なミッション（神戸市行財政改革方針2025期間中のミッション）

ミッション①	神戸医療産業都市の中核的支援機関としての事業推進
ミッション②	革新的医療技術の創出による市民福祉の向上
ミッション③	事業推進のための効率的な運営体制の構築
ミッション④	自律的組織運営に向けた自主財源の確保

■短期的なミッション（令和4年度のミッション）

ミッション①	革新的な医療技術の実用化
ミッション②	HBIの安定的な運営

■経営指標（令和2年度）

経営指標				令和元年度	令和2年度	前年度比増減
人的 パフ ォー マ ン ス	職員 一人 あたり 純利益	純利益/職員数	職員1名あたりが、どの程度の利益を上げているか。(百万円)	0.932	2.740	1.8ポイント
	経常費用 人件費比 率	人件費/経常費用×100%	経常費用に占める人件費の割合がどの程度あるか。	30.15%	33.04%	2.9ポイント
財 政 的 パ フ ォ ー マ ン ス	総資本 経常利益 率	経常利益/総資本×100%	経常的な収益性はどの程度見込まれるか。	-1.89%	-3.94%	-2.0ポイント
	流動資産 回転率	売上高/流動資産×100%	流動的な資金が効率的に運用されているか。	429.05%	273.33%	-155.7ポイント
財 政 安 定 性	流動比率	流動資産/流動負債×100%	短期的な資金をどの程度確保できているか。	29.91%	38.12%	8.2ポイント
	自己資本 比率	自己資本/総資本×100%	団体固有の資本がどの程度あるか。	39.01%	40.00%	1.0ポイント
持 続 性	自己資本当 期純利益率 (ROE)	当期純利益/純資産×100%	資本を効率的に運用しているかか。	8.17%	20.38%	12.2ポイント
	純資産 増加率	(当期純資産-前期純資産) / 当期純資産×100%	純資産が持続的に増加しているか。	8.17%	20.38%	12.2ポイント

■ ミッション工程表

ミッション名	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度～		
中長期的ミッション												
神戸医療産業都市の中核的支援機関としての事業推進	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸医療産業都市の中核的支援機関として、企業、研究機関・大学、医療機関等との融合・連携を促進し、集積による相乗効果を生み出すとともに、一貫した支援体制の構築と神戸医療産業都市の国際展開等の推進に取り組む ・神戸医療産業都市を構成する様々なステークホルダーのニーズを踏まえ、世界的クラスターにふさわしい研究・操業環境づくりに取り組むとともに、神戸医療産業都市の国内外の認知度を向上させるため、積極的な情報発信を図る ・外部者の利用機能を有する動物実験飼育施設、高度な研究機器を配備した共用機器室を次世代医療開発センターの一部として運用し、研究環境の充実を図る 											
革新的医療技術の創出による市民福祉の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・先端医療の実現に資する研究開発及び臨床応用の支援、次世代の医療システムの構築を通じて、革新的医療技術の創出を図る ・免疫医療研究領域、神経変性疾患研究領域、再生医療研究領域、血液・腫瘍研究領域、感染症領域等に関する新たな医療シーズの創出に取り組む ・機構発シーズ並びにアカデミア発シーズを中心に国内外の新たなシーズで新規性の高い医薬品、再生医療等製品、医療機器等の承認を目指してトランスレーショナルリサーチを進め早期の実用化を促進する ・治療用幹細胞の研究や治療用細胞の製造等の細胞療法にかかる医療シーズの開発支援とともに、次世代細胞培養システムの構築等再生医療の世界標準化を目指す 											
事業推進のための効率的な運営体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸医療産業都市の中核的支援機関として、産官学医の連携・融合を促進する総合調整機能を担うとともに、先端医療の実現に資する研究開発及び臨床応用の支援、次世代の医療システムの構築を通じて、革新的医療技術の創出と医療関連産業の集積形成に寄与する ・継続的な体制の見直しを行いながら、効率的な事業執行体制及び各部門間の横断的な連携体制を確立するとともに、指揮系統・権限・責任分担の明確化を図る 											
自律的組織運営に向けた自主財源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・機構の自律的運営に向けた単年度正味財産ベースの収支均衡及びさらなる経営改善を図る ・研究開発支援基金の確保、公的研究事業費、大学や民間企業等との受託・共同研究及び事業による外部資金の拡大、資産の活用、寄附金の確保といった収入の確保につとめ、短期借入金残高を毎年度1.2億円縮減する 											
ミッション名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
短期的ミッション												
革新的な医療技術の実用化	<p>(年間を通じて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各研究基盤をできるだけ集約したラボとともに、自前の動物実験飼育施設、高度な研究機器を配備した共用機器室を合わせて配置した次世代医療開発センターを中心に、研究アクティビティを最も効率的かつ効果的に機能させる ・研究機関・大学や企業の有望な研究開発シーズを収集・共有し、産学連携による新たなイノベーションを創出するとともに、医療機関におけるニーズの探索・発掘を行い、シーズの実用化・事業化及び医療技術の向上に寄与する 											
H B I の安定的な運営	<p>(年間を通じて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需要を呼ぶための周知・サービス向上に努め、動物実験飼育施設、共用機器室の利用料収入を確保する ・本庶記念神戸基金の周知に努めるとともに、ニュースレター等での周知により継続的な寄附者の獲得に努めることで、寄附金を確保する 											

■ ミッションを踏まえた団体目標

目 標 及 び 実 現 方 法	<p>目標 (できるだけ達成度を表す 数値目標も記載)</p>	<p>神戸医療産業都市の中核的支援機関として、産官学医の連携・融合を促進する総合調整機能を担うとともに、先端医療の実現に資する研究開発及び臨床応用の支援、次世代の医療システムの構築を通じて、革新的医療技術の創出と医療関連産業の集積形成に寄与する</p>
		<p>・ 4センター体制を基本に相互の緊密な連携により事業を実施する</p>
		<p>・ 研究機関・大学、医療機関、医療関連企業等との連携により研究・事業を進めるにあたり、機構がマグネット機能を果たすことができる体制を整備する</p>
		<p>・ 免疫医療研究領域、神経変性疾患研究領域、再生医療研究領域、血液・腫瘍研究領域、感染症領域等に関する新たな医療シーズの創出に取り組む</p>
		<p>・ 機構発シーズ並びにアカデミア発シーズを中心に国内外の新たなシーズで新規性の高い医薬品、再生医療等製品、医療機器等の承認を目指してトランスレーショナルリサーチを進め早期の実用化を促進する</p>
		<p>・ 治療用幹細胞の研究や治療用細胞の製造等の細胞療法にかかる医療シーズの開発支援とともに、次世代細胞培養システムの構築等再生医療の世界標準化を目指す</p>
		<p>・ 神戸医療産業都市を構成する企業、研究機関・大学、医療機関等との融合・連携を促進し、集積による相乗効果を生み出すとともに、一貫した支援体制の構築と神戸医療産業都市の国際展開等の推進に取り組む</p>
	<p>・ 自律的運営に向け、研究開発支援基金の確保、公的研究事業費、大学や民間企業等との受託・共同研究及び事業による外部資金の拡大、資産の活用、寄附金の確保といった収入の確保につとめ、短期借入金残高を毎年度1.2億円縮減する</p>	

■ 市支援策の活用状況

<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体共通内部通報窓口	<input type="checkbox"/> 経営懇談会	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体職員向け研修	<input type="checkbox"/> 民間代替性調査
<input type="checkbox"/> 専門家紹介制度	<input type="checkbox"/> 経営診断	<input type="checkbox"/> 企業統治状況調査	

■ ミッションの達成状況（団体自己評価）

（１）中長期的ミッションの達成状況

・ 神戸医療産業都市の中核的支援機関としての事業推進

財団設立から22年が経過し、神戸医療産業都市の取り組みは360を超える企業・団体・研究機関の集積、高度専門病院群の整備などにより大きく進展してきたが、神戸医療産業都市推進機構としても更なる発展に寄与すべく、次世代医療開発センターの整備をはじめとして様々な取り組みを進めている。

・ 革新的医療技術の創出による市民福祉の向上

次世代医療開発センター(HBI)に集約した4つの研究領域（免疫医療研究、神経変性疾患研究、血液・腫瘍研究、感染症制御研究）の一体的な運用を図るとともに、先端医療研究センターで展開する脳血管再生及び脳梗塞治療法開発研究との連携を図り、新たなシーズ創出に取り組んでいる。

・ 事業推進のための効率的な運営体制の構築

一体感のある組織の実現に向けて、事務部門の集約化をはじめとする組織の再編を行うとともに、細胞製剤の製造等の事業拡大や商用展開の機動的な推進を図ることができるよう、2023年3月末をもって、機構における「細胞療法研究開発センター」を発展的に廃止することとし、機構から独立した新会社に当該事業を譲渡した。

・ 自律的組織運営に向けた自主財源の確保

収益事業である「賃貸事業」による収益や公的研究費、大学や民間企業等との受託・共同研究等による外部資金の拡大等に努め、短期借入金残高を1.2億円縮減した。

（２）短期的ミッションの達成状況

・ 革新的な医療技術の実用化

これまで機構が共同開発を進めてきた難治性眼表面疾患に対する新規治療法の細胞シート製品（サクラシー）に関して、製造販売承認を取得し、実用化した。

・ HBIの安定的な運営

HBIに設置した動物実験飼育施設について、安全な実験動物飼育環境を維持し、高度な動物実験支援サービスを提供することで、研究環境の充実を図っており、機構内の研究部の利用が拡大している。（オープンラック利用率 令和3年度末：50.0%、令和4年度末：81.3%）

（３）市政への貢献・市民への還元状況

当機構が開発を支援し公的医療保険が適用された製品については、新たな医療技術として神戸市民をはじめ広く国民全体へ提供されている。今後も革新的な医療技術の早期の実用化や進出企業の育成に努め、市民福祉の向上や神戸経済の活性化に貢献していく。

■外郭団体マネジメント推進本部の評価

(1) 総合的意見

支援ニーズに対応したワンストップサービスの提供などにより革新的な医療技術の開発支援・進出企業の育成支援等に取り組むとともに、安定的な組織運営の実現に向けて、組織体制の見直し等を図り財政の健全化に計画的に取り組んだ。今後も、市民への着実な効果還元を実現するため最適な組織運営に取り組むこと。

(2) 数値目標の状況

評価項目	評価・指導
中長期的ミッション	進出企業等に効果的な支援を実践できるよう、中核的支援機関として時代の変化に的確に対応した支援メニューの構築、体制の最適化を図るとともに、財政面においても、自律的な組織運営の確立に向け、収支構造の改善に取り組み、借入債務の計画的な圧縮を行うこと。
短期的ミッション	HBIの安定的な運営に向けて、引き続き動物実験施設をはじめとした収支構造の最適化に重点的かつ計画的に取り組むこと。
団体目標	神戸医療産業都市の取り組みが、市民への効果還元が図られ、神戸のまちの成長に資するよう、中核的支援機関として、時代や取り巻く環境の変化に的確に対応しながら、進出企業や研究機関のシーズ等の事業化・産業化、産学官医の連携の強化等について効果的かつ効率的に施策・事業を実践できる組織体制・支援メニューの構築に取り組むこと。
市への貢献・市民への還元状況	革新的な医療技術の実用化に向けた研究を加速化させ、市民への還元を図るとともに、一般公開や出前授業の充実など広報活動に工夫を凝らし、神戸医療産業都市に対する市民理解のさらなる向上に取り組むこと。

(3) 今後の方向性

団体の存廃も含めた検討を要する団体

継続的な見直しを要する団体

取り組みが着実に実施され成果が上がっている団体